

## 上下水道局管理課長の仕事宣言！

管理課長 高尾浩伸

①重点施策項目名	水道料金収納率の向上
②目標値	水道料金収納率 現状値 97.1%⇒平成 30 年度末 97.3%
③今年度の取組方針	企業経営の根幹である料金収入の確保と公平性の観点から、従来どおり電話催告、訪問徴収等による滞納整理を行うとともに、今年度は、料金滞納未然防止のため口座振替の利用推進を図ります。 具体的には、納付書利用者への文書等による周知を図ります。 (口座利用件数目標；20,600 件⇒21,000 件)
④今年度の取組結果	口座振替の利用促進策として、例年と同様に市報掲載(7月及び12月)及び開始受付時の口座振替へのお願いに加え、本年度は、平成 30 年 8 月請求の納付書から口座振替への変更をわかりやすく記載した口座振替の案内文書を納付書と同封しました。 その取組により、1 月末納期の口座振替件数は、前年度から 318 件の増で 20,918 件となり、年度末にはほぼ目標達成の見込みです。
⑤数値目標の結果	1 月末の収納率は、現年度・過年度分をあわせて 96.7%となり、前年同期と同水準にとどまりました。
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	現年度分の収納率は前年同期を 0.1 ポイント下回る一方で、過年度分の収納率は前年同期を 3.2 ポイント上回っています。 来年度は短期の滞納者対策として、新たな収納方法等の検討が必要です。

## ◇所管部長の指示

現年度・過年度分をあわせた収納率が目標を達成できなかった要因を分析し、より有効な収納対策を検討すること。

## 上下水道局管理課長の仕事宣言！

管理課長 高尾浩伸

①重点施策項目名	下水道ストックの有効活用（新M I C S事業）
②目標値	し尿等受入施設；平成32年4月稼働
③今年度の取組方針	<p>今年度、社会資本整備総合交付金の要綱改正により、下水道の既存ストックを活用し、し尿や浄化槽汚泥を含めた効率的な汚水処理が可能となりました。交付金等を最大限活用し、し尿等受入施設の整備を推進するとともに、負担の公平性等に配慮し、施設整備・維持管理等について、市長部局と基本協定書を締結します。</p> <p>また、供用開始までには、施設の運営体制・管理基準等の検討を進め、し尿等処理費用などの詳細について市長部局と費用負担協定書を取り交わします。</p>
④今年度の取組結果	<p>○基本協定書の締結 し尿等受入施設に係る市長部局と下水道部局の責任と役割を定めるため、施設の整備、維持管理等についての基本協定書を平成30年4月18日に締結しました。</p> <p>○工事委託の協定 工事については、平成30年8月10日に日本下水道事業団と工事委託の協定を締結し、8月13日に工事着手しました。</p> <p>○費用負担協定書の締結 前述の基本協定書の規定に基づき、施設整備にあたっての負担費用を具体的に定めた費用負担協定書を平成31年2月5日に締結しました。</p>
⑤数値目標の結果	—
⑥成果と課題（次年度に向けて）	市長部局が負担する施設の維持管理費等について、先進事例等の調査・研究を行い、来年度末までには市長部局と費用負担協定書を締結できるよう協議を進めます。

## ◇所管部長の指示

市長部局との適正かつ妥当な費用負担について調査研究を進めるとともに、平成32年4月稼働にむけ事業の進捗に努めること。